

# 企業紹介

## 地域に根差しグループで 総合力を発揮



## 嵐北産業株式会社

代表取締役 刈屋 哲  
〒955-0151 三条市萩堀734-3  
TEL 0256-46-2313 FAX 0256-46-4894  
<http://www.ranpoku.com>

業 種：生コン製造販売、各種骨材製造販売  
資 本 金：3,000万円  
事業内容：生コン製造販売、砂利・砕石などの各種骨材製造販売、土木建築請負

三条市五十嵐川の北、嵐北地域で生コン製造販売、各種骨材製造販売などを営む嵐北産業株式会社。高強度コンクリートの開発など技術力向上に努めているほか、社員教育にも熱心に取り組む。また、グループ会社では、高品質な各種培土の製造販売を行うなど、多角化を進めている。

### 砂利採取事業で創業

同社は、昭和38年、高橋建材(株)として創業。その後、昭和42年に所在地にちなみ、嵐北産業(株)と改称。創業時は、砂利採取販売業を行っていたが、その後、生コン製造、各種骨材製造、土木建築などへと事業を広げてきた。

近隣地域に栃尾産業(株)など、生コン製造のグループ会社を持つほか、(株)嵐北商事では、育苗培土の製造販売や、ガソリンスタンド経営を手掛け、積極的に多角化を進めている。



▲主力の生コンプラント

### さまざまな事業で強みを発揮

主力事業の生コン製造販売では、嵐北産業(株)と近隣地域のグループ会社により、三条市を中心とした地域を広くカバー。顧客のニーズに柔軟に対応できる体制を整えており、これが同社の強みとなっている。

また、砂利採取事業では、創業当時と異なり、河床からの砂利採取が禁止されているため、現在では水田を掘り返して採取する方法に変わっている。砂利採取後は、元の水田に戻す必要があるが、同社では、地権者が納得するまで原状復帰に責任を持つなど、きめ細やかな対応を行う。

さらに、(株)嵐北商事は、昭和52年から育苗用培土の製造販売に進出。既に30年以上にわたり、技術蓄積を進めている。同社の培土は、病気が発生しにくいなど、品質の高さに加え、予め肥料が入れているため、直ぐに使うことができる手軽さも特徴。特に水稻用培土については、刈屋社長自身が、毎年自分の水田で使用し、さらなる品質の向上に努めている。



▲エコの時代にふさわしい再生コンクリートプラント

### 社員教育に注力

同社は、社員教育にも力を注いでおり、さまざまな研修に積極的に社員を参加させている。昨年は、当研究所で実施した電話対応研修を始め、禅道場への入門なども実施。「次の世代を担う社員を育てるため、試行錯誤している面もあるが、いろいろな研修を体験してもらうことで、仕事の幅を広げてほしい。」とは刈屋社長の思い。

また、栃尾産業(株)では、通常のコンクリートの数倍の強度を持つ高強度コンクリートの開発も行っている。高層ビルなどに使われる高強度コンクリートは、用途は限られるものの、若手社員の技術力向上やモチベーションアップに繋がるという。

こうした、人材育成への取り組みが同社を支える大きな力となっている。



▲(株)嵐北商事が製造する水稻用培土  
他にも野菜用、プランター用などある